



News Letter

臨時号

わたしも応援しています

堀内正美さん(神戸市在住)

略歴

1950年、映画監督堀内甲(まさる)の長男として、東京都世田谷区に生まれる。

桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コースに演出を希望して入学。

演出家の千田是也氏・田中千禾夫氏・阿部公房氏に学ぶ。その後、劇作家清水邦夫氏・演出家蜷川幸雄氏に師事。在学中にTBSプロデューサー山田和也氏に俳優としてスカウトされ、金曜ドラマ「わが愛」(夏目漱石の「それから」と「門」を、早坂暁氏が脚色・大山勝美氏が演出)で加藤剛氏の弟役(小六)でデビュー。その後、舞台・映画・ラジオCM等に出演。出演作の多くは、文芸・サスペンス・時代劇。特に、実相寺昭雄監督作品には多数出演し、異色の役柄を演じる。

1984年、東京から神戸市に転居。

1995年、阪神淡路大震災後、神戸市民の合言葉「がんばろう!!神戸」を発案、と同時に、市民ボランティアネットワーク「がんばろう!!神戸」を結成。活動を始める。その後、NPO法人『阪神淡路大震災1・17希望の灯り』(HANDS)を設立、俳優とボランティア活動に活躍中。



テレビドラマや映画で長年活躍している堀内正美さん。

俳優業とボランティア活動に大忙しの中、被害者支援について語っていただきました。

被害者とは…

被害にあわれた方は「まさか自分達が…まさか家族が…」だれもが被害者になりたくない、なると思っていなかったという。被害にあってはじめて被害は身近に起きることを知る。これは阪神淡路大震災のような天災・犯罪や交通事故による被害と同様に誰にでも起こりうる出来事である。

もちろん被害にあわれた方が受けるダメージは個別のケースでそれぞれ異なるが、自然災害、事件、事故、…。

それぞれ、さまざまな喪失とそれぞれの悲嘆がそこにある。

初動が大事…

しかし自然災害により被災された方・犯罪被害にあわれた方に対する支援の基本はよく似ている。

大切なことは初動が大事。被害が起こった時すぐに動ける体制にあること、そして被害にあわれた方々の気持ちを理解できるのは被害にあった体験を持つ遺族や家族であることが重要と思う。

「HANDS」では遺族がすぐに支援に入れる仕組み作りに取り組んでいる。

支援に関しては…

再生への道を歩みだすのは、向き合ってくれる人がいることではなく、寄り添ってくれる人がいることである。「一緒に歩んでくれる人」「ぬくもりを感じられる場」が身近に必要なと考える。そして支援は「それならできると」思えるシンプルで簡単なことから始まる「自分ができることからやろう」という考えです。

ボランティアとは…

「困ったときはお互いさま」が原点。

昔、米が配給制で米穀手帳が各家庭にあった時代に、ご近所でお米の貸し借りをしていた。

お互い米が潤沢にあるわけではないがお隣さんが困っていると快く都合をつけあったものである。

ボランティアは決して「してあげている」との考えをもってはならない。

自己実現のものでもない。あくまで「お互いさま」の精神が必要だ。



堀内正美さんの活動



HANDS

国税庁認定NPO 特定非営利活動法人

阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」(略称:HANDS)

HANSHIN-AWAJI NETWORK FOR DISASTER SURVIVORS

詳しくは <http://117kibounoakari.jp>

…1995年1月17日午前5時46分に起きた阪神淡路大震災は、
「いつ?どこで?何が起こるかわからない?」という現実を僕たちに突き付けた

…そして、多くの尊い「いのち」が奪われた…

神戸に移り住んで11年目の僕は、友人たちに呼びかけ、
市民ボランティア・ネットワーク「がんばろう!! 神戸」というグループを立ち上げ
活動をはじめ

目的は、生き残った方々を支えるため

その活動の中で、家族を亡くされた方々と出会う
…絶望し、凍り、時が止まり、暗闇に動くことも出来ない方々…
僕はただ寄り添い涙するだけだった…

「生」を支える活動から、「死」を見つめる活動が始まる

暗闇にいる方々に、せめて小さな灯火でもと、「1.17希望の灯り」を建立する

そして、NPO法人阪神淡路大震災『1.17希望の灯り』を設立
震災だけでなく、事件、事故などで愛するご家族や友人を亡くされた方々と、
支え合い、補い合う活動を進めるために

主な出演

NHK朝の連続テレビ小説、『鳩子の海』でヒロインの憧れの人を演じる。
個性的な役柄を次々と演じる。ナイーブな青年役に持ち味を発揮する一方、金持ちのドラ息子や
乱心する公家、さらには妖怪的な殺し屋まで、狂気を感じさせる悪役も様々に演じた。
近年は、時代劇の殿様役や若手監督の作品などに出演している。
純と愛(2012年-2013年)軍師官兵衛(2014年)芙蓉の人(2014年)など数多くのテレビドラマや
映画・舞台に出演。



発行日：2014年11月
発行者：公益社団法人
ひょうご被害者支援センター
事務局：TEL 078-362-7512
URL：<http://supporthyogo.org>



【無料電話相談】**078-367-7833**
毎週 火・水・金・土(祝日は除く) 午前10時から午後4時
心理相談・法律相談も行っております(無料・予約制)